

日中 翻訳必携 実戦編

～好評の日中翻訳学院「武吉塾」の授業内容が一冊に！
実戦的な翻訳のエッセンスを課題と訳例・講評で学ぶ～

2014年
2月から
新発売

本書は2007年刊行の『日中・中日 翻訳必携』の姉妹編である

本書はまず「はじめに」で、翻訳の手順、20にのぼるQ & A(受講者からよく受ける質問と解答)、著者からの助言が述べられて、翻訳に取り組む心構えと訳者がよくぶつかる問題点と解決策が、簡潔に紹介されている。

次に本文では、これまでに武吉塾で出題された113の課題文から36編を精選して、それぞれの参考訳文と講評が添えられている。課題文には中国語6、中国語3、中国語3、中国語3、中国語4、中国語3、中国語3、中国語3、中国語3、中国語4、中国語3、中国語4の10分野が網羅されており、それぞれ内容も文体も異なるので、読者のさまざまな関心に応えながら、興味をそそるに違いない。

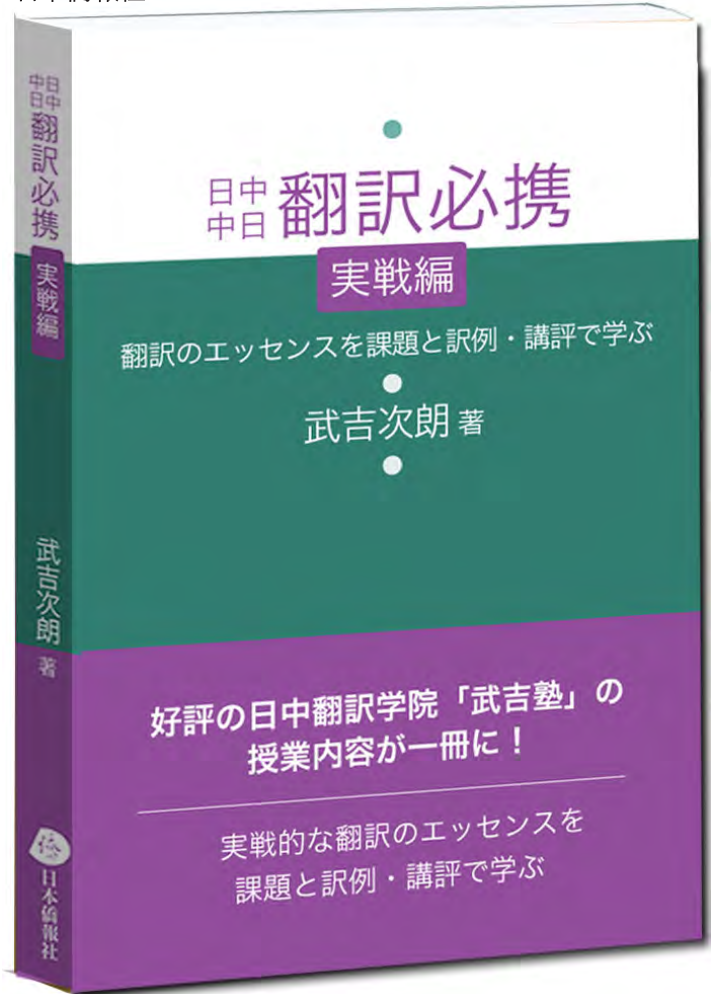
ここには「より良い訳文づくり」のためのヒントが満載され、「より良い訳者になる」ための道程が明快に示されているので、読みながら自分の体験を振り返って、うなずいたり、膝を打ったり、微笑んだりされること請け合いです。

目次より

中国語	1：“四合院”は訳すべきか 2：タイトルの付け方 3：“有可能”の訳し方 4：“2.04億”は落とし穴 5：逆転の発想も 6：“中国中東部”は地名か	日本	1：“利用”と「活用」 2：キーワードの検索を 3：“以便”は訳しに
中国語	1：“戸籍”と「戸籍」 2：“中国”か「わが国」か 3：動詞がどこまで係るか	世界	1：差別語、不快用語 2：“職人”の語感 3：日本語は否定形好み
中国語	1：人名には必ず敬称を 2：“問題”の訳いろいろ 3：2とおりの“也”	女性	1：“女はつらいよ” 2：“省時、省力、省銭” 3：“首先是A，其次才是B” 4：“例如”も訳しに
中国語	1：役所ことば 2：“または”と「もしくは」 3：契約書のスタイル	風景	1：バナナ、りんご、梨 2：4とおりの文体① 3：4とおりの文体②
日中交流	1：中国人の肩書き 2：個条書きに変える 3：“日中”か「中日」か 4：書簡の形式	会話体	1：“？”と「！」 2：説明調を簡潔に

詳しくは：
<http://duan.jp/item/160.html>

日中翻訳学院武吉塾長 武吉次朗 著
日本僑報社 ISBN 978-4-86185-160-5



【著者紹介】

武吉次朗 (たけよし じろう) 1932年生まれ。1958年、中国から帰国。日本国際貿易促進協会事務局勤務。1980年、同協会常務理事。1990年、摂南大学国際言語文化学部教授。2003年退職。主な著(訳)書：『日中中日翻訳必携』、『新版 現代中国三〇章』、『新中国に貢献した日本人たち』、『中国の歴史教科書問題』など(裏面をご参照)。

ご注文は、日本僑報社 e-shop (中国研究書店) を通じてか、このチラシを書店へご持参ください。

御注文	送信 FAX 03-5956-2809		取次コード 5752	番線印
	御住所 〒	日中中日翻訳必携 実戦編 ISBN 978-4-86185-160-5 発行日：2014年2月1日 並製四六版 192頁 定価：本体 1800円 + 税		
	御氏名	注文部数 部		
	御電話	日本僑報社 e-shop http://duan.jp		